
自己紹介：水林 亨介（みずばやし こうすけ）

- 気象予報士
- 気象データアナリスト養成プログラム修了
- IT企業勤務
- ビールが大好き！

気象データアナリスト 養成プログラム受講前

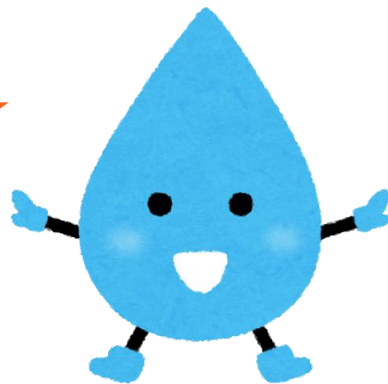
ビールの四大原材料



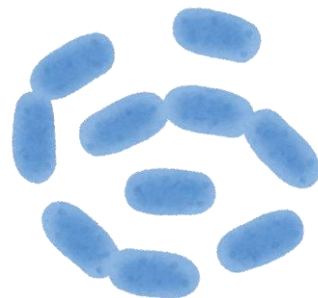
麦（大麦）



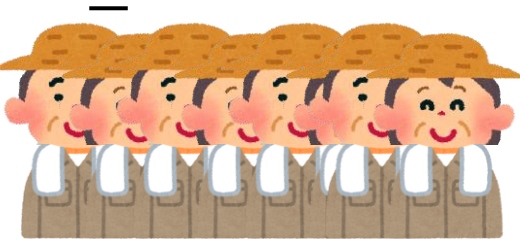
ホップ



水



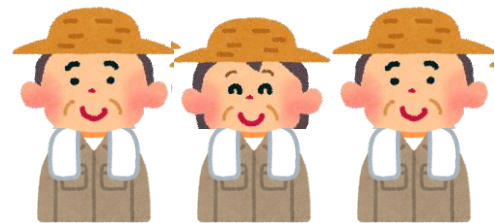
酵母



国内ホップ産地が抱える課題

課題

- 作付面積の減少
- 農業従事者の減少、高齢化
- 設備の老朽化

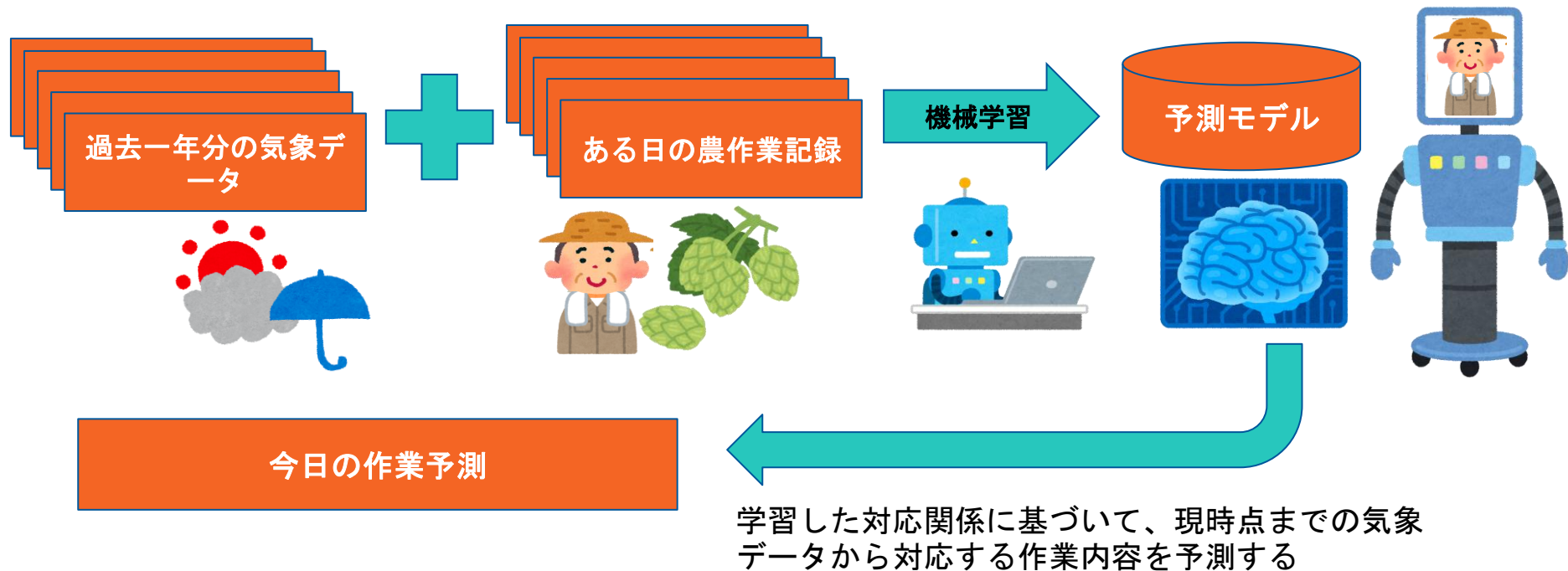


良い兆し：新規就農者が少しずつ増えてきている

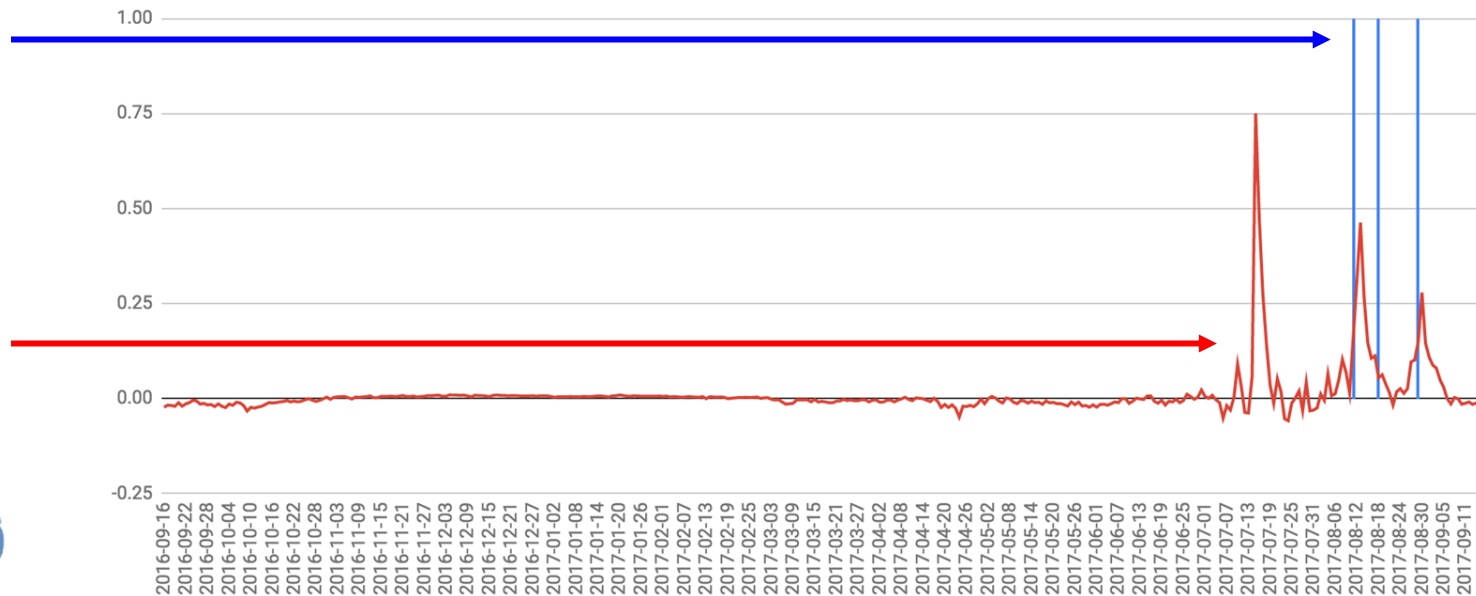
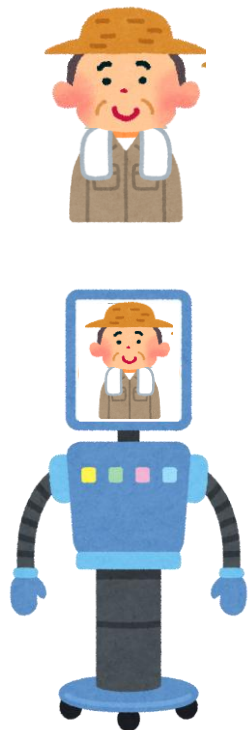
新たな課題：技術継承。ベテラン農家の知識、経験をどのようにより広く共有、役立てられるか



AI（機械学習）による農業支援



作業時期の予測の例



気象データアナリスト 養成プログラム 受講の動機

気象データアナリスト養成プログラム受講の動機

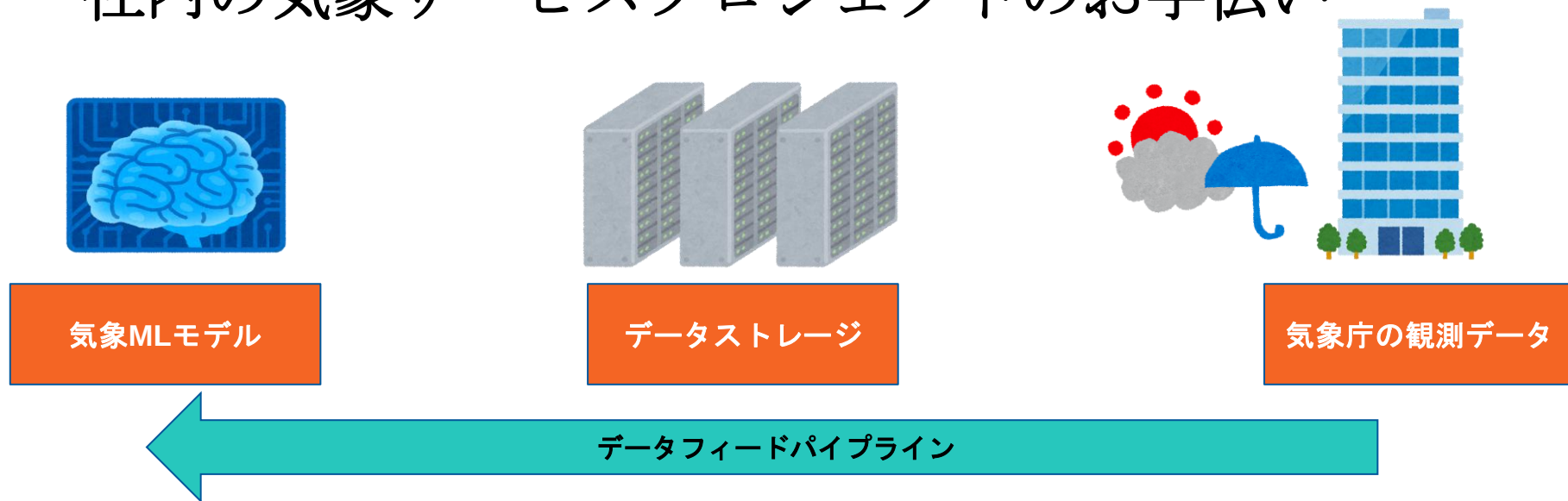
- さらに多様な気象データを扱えるようになりたい
- 気象データ特有の機械学習の適用方法を知りたい
- より精度の高い作業予測が実現できないか

気象データアナリスト 養成プログラム 受講後の活動

社内の気象サービスプロジェクトのお手伝い

- リサーチ部門が開発した気象予測のためのMLモデル
- 米国、欧州でサービス提供していたものを日本でもサービス開始できないか
- 日本の気象データでMLモデルをトレーニングする

社内の気象サービスプロジェクトのお手伝い



気象データアナリストで学んだ、各種気象データの構造の知識、
ハンドリング方法などを活かすことができた